



## バンングラデシユに恋して

私たちにあまり馴染みのない南アジアの国、  
バンングラデシユを紹介します。

vol.17



### バンングラデシユの結婚事情

先日、30歳になる甥っ子が婚約しました。これから結婚式場、衣装の打ち合わせ等決めなくてはいけない事ばかりで大変だ〜と悲鳴を上げていました。が、イスラムの国バンングラデシユの結婚は厳格なイスラム法に基づいて執り行なわれるのが一般的で選択の自由はほぼありません(バンングラデシユの93%がイスラム教徒です)。

まず、結婚にあたって「二カナマ」と呼ばれる婚姻証明書を提出します。すると手続き人がうちにやって来て家族親戚立ち合いのもと書類にサインをし、ベンガル語で誓いの言葉を復唱しお終いです。1度二カナマの内容を訳してもらった事があるの

ですが、今もって男尊女卑的な部分が多く、バンングラデシユの女性にとって結婚がそれほど幸せじゃない事が分かります。でもそれを訳してくれた友人は言ったのです。それでもバンングラデシユに生まれた女性達は自分の運命に逆らうことをせず、夫、子供達の為に一生懸命毎日を生きてゆくのだと…。



▶バンングラデシユの結婚式の様子

ホームページでも見れます!

ローズマリー 八代

検索

ご感想お待ちしております!

鶴田 素子さん

八代市のローズマリー紅茶店オーナー。50歳で大学院に再入学し、開発経済学を専攻。途上国の貧困削減のためフェアトレードを推進する。